

講演抄録

植草康浩

「見た目が大事？どこで見分ける重要疾患？！」

歯科治療や口腔ケアに関わる方々にとって、口腔内は日々見慣れた風景であろうと思います。しかし、すこし身体を引いて対象者から身体を起こして眺めてみましょう。頭頸部領域全体を包括的に観察することに関して日常的に「見慣れている」と自信をもっていることができるでしょうか。さらに一步引いてみて、ベッドサイド(チェアーサイド)から全身を眺めてみます。所見から現在の患者の状態を想起できるでしょうか。口腔内は身体情報を映す誠に便利な鏡ですが、同様に全身から様々な情報を得ることができます。今回は患者背景に関する情報のない状態で微視的、巨視的に交互に患者を診るということにやや重点を置いたお話しをさせて頂こうと思います。また、私の専門である「耳鼻咽喉科・頭頸部外科と歯科」という部分で常日頃考えていることを中心にお話しします。余談では私の関わっているイルカ医学についても触れて皆さんの興味を得る機会にできればと思っています。どうぞお気軽にご参加ください。